



第24回 Clayteam セミナー ものづくりは 時を超え、国境を越え

日時 2016年2月18日(木) 13:00~18:00 (受付 12:30~)
場所 TKP ガーデンシティ 仙台 ホール A/B (アエル 21 階)
〒980-6121 仙台市青葉区中央 1-3-1 TEL: 022-714-8101
主催 産総研化学プロセス研究部門 Clayteam
共催 一般財団法人日本立地センター、SIP リグニン
後援 東北経済産業局 定員 200名

産業技術総合研究所化学プロセス研究部門では、東北地域に豊富に産するベントナイトと呼ばれる粘土を高度利用した材料開発を行い、その産業界への橋渡しを行ってきました。ISO/TC229 WG4 では、粘土の規格について検討が開始されようとしています。そこで、ナノテクノロジー国際標準化に携わっておられる小野様に、ナノテクノロジー標準化と今後の動向についてお話を頂きます。東北においては縄文時代から土器や土偶という形で粘土から独創的なデザインの焼き物を作ってきました。東北のものづくりの特徴について、東北歴史博物館の小谷学芸員にお話を頂きます。一方で、東北は人口減少やそれに伴うものづくり産業の衰退が懸念される所です。そのような状況にあり、産学官連携によってシーズ技術を製造業へと目に見える形で橋渡しし、新産業として地方創生につなげていくかが問われています。東北経済産業局からは、東北のものづくりの現状認識と地方創生支援についてお話しいただきます。パネルディスカッションでは、ものづくり・新技術の社会受容プロセスに対するパネラーのご意見を伺い、議論を深めていくとともに、それぞれのセクトでできることを考えることを通して、機能性製品産業振興の方向性を展望する機会としたいと思います。ポスターセッションでは、約40のブースで東北内外の企業、大学、公的研究機関から多くのものづくり関連技術・製品の紹介をいたします。

[プログラム] [敬称略]

13:00-13:10 開会挨拶

13:10-14:10 【座長】林 拓道 [産総研]

【基調講演】

「ISOにおけるナノテクノロジー標準化とナノクレイ規格の動向」

◆小野 晃 産業技術総合研究所 特別顧問
(ISO/TC229 ナノテクノロジー国内審議委員会)

14:10-14:40 「手仕事の技を繋ぐ～江戸時代の職人技から現代の工芸へ～」

◆小谷 竜介 東北歴史博物館 学芸部 学芸員

14:40-15:10 「東北地域におけるものづくりと地域中核企業創出・支援の取り組みについて」

◆佐竹 義美 東北経済産業局 地域経済部 自動車産業室 技術係長

15:10-16:30 ポスターセッション

16:30-17:50 パネルディスカッション

「世界を変えるものづくりを育む連携とは(仮)」

パネラー:小野晃、小谷竜介、佐竹義美

濱川聡(産業技術総合研究所化学プロセス研究部門長)

【モデレーター】山田 由佳 [産総研 イノベーション推進本部 総括企画主幹]

17:50-18:00 閉会挨拶

18:00-20:00 懇親会(参加料:一般 5000円、学生 2000円)

(内容が変更されることがございますのでご了承ください)



Clayteam事務局

〒983-8551 宮城県仙台市宮城野区苦竹4丁目2-1

産業技術総合研究所 化学プロセス研究部門 機能素材プロセッシンググループ内

Phone&Fax 022-237-3057 E-mail: clayteam-aist-ml@aist.go.jp